

【長崎市第五次総合計画 前期基本計画】

【学校教育目標】

「長崎のまちを愛し、新たな時代を生き抜く子どもを育む」
2025 年度にめざす姿「長崎のまちを愛する気持ちを持ち、変化に対応しながら、新たな時代を強く生き抜く力を身に付けている」

「感性豊かで、主体的に行動する生徒の育成」
望ましい集団生活をとおして、豊かな感性を持ち、主体的に学ぶ、心身ともに健やかな行動力のある生徒を育成する。

- 1 確かな学力の向上
- 2 健やかな心と体の育成
- 3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- 4 安全・安心に学べる教育環境を整備

【目指す生徒像】 知・徳・体の調和のとれた生徒

- ・心豊かで、礼儀正しい生徒 : 徳
- ・より求めて学び、創造する生徒 : 知
- ・健康で、たくましい生徒 : 体

【学力向上達成目標】

- ★学力調査の結果で県・全国平均に達する
- ★自分の考えを持ち、他と協働しながら理解を深め、豊かな表現と課題解決ができる生徒の育成

【学力向上委員会（研究推進委員会）を中心とした共通実践事項】

- 学力向上を目指した「授業改善4項目」の共通実践 ①学習規律 ②協働の場の設定
③個に応じた指導 ④ICTを活用した指導
- 授業改善に向けた研究授業と授業研究会による教師の指導力向上
- 「全国学力調査」「県学力調査」、「市学力調査」の分析と課題追求
- 小中連携による学力向上「授業の相互参観」「小中連携会議」「乗り入れ授業」
- 家庭学習の充実 ①家庭学習の手引きの配付 ②週末課題 ③生徒会活動による自学ノート提出と学習コンテストの実施 ④教科での継続的な課題

【今年度の重点実践】～学力調査の結果をふまえて～

- 協働の場面を設定し、生徒が自分の考えを持ち、表現しながら課題解決していく授業への改善
- 読み解く力や書く力に重点を置いた基礎基本の定着

【基礎・基本の徹底】

- 「めあて」提示と「まとめ」の実践
- 授業の5か条による学習規律の徹底
- 単元テスト・小テストの実施
- IT 授業による個別対応の充実
- 読書の時間の設定
- キュビナの活用
- 学習コンテストの実施

【思考力・表現力等の育成】

- 「書く活動」「自分の意見を述べる活動」を重視した授業づくり
- 定期及び実力テストでの「考えの根拠などを書く」問題の作成と分析
- 協働の場面を設定した授業づくり
- お互いに考えを安心して伝え合い、認め合う環境づくり
- ICTや図書室の活用

【家庭学習の習慣】

- 家庭学習のしおりの配布・活用
- 毎日の自学ノートの提出、助言
- キュビナを活用した週末課題
- 「身に付けたこと」の定着を図る課題
- 「書く」力をつける課題
- 自学スペース設置

【学力調査結果を踏まえた取組】

- 国語科：言語事項[漢字の知識や句の意味、慣用句等]についての知識・理解の力を伸ばす。
文章の内容をとらえる力や、自分の考えについて記述する力を伸ばす。
情報を読み取る力や、自分の考えを記述する力を伸ばす。
- 数学科：数と計算、図形、変化と関係、データの活用の領域において、基本的な知識・理解の力を伸ばす。
図形、データの活用の領域において、基本的な知識・理解の力を伸ばす。
数と式、関数の領域において、基礎的な知識・理解の力を伸ばす。
- 英語科：身の回りの客観的な事実を、例や根拠として取り入れながら表現する力を伸ばす。
社会的な話題について、要点をとらえて読み、その内容に対する自分の考えと理由を書く力を伸ばす。

【指導と評価の一体化】

- 評価に基づく検証
- PDCA サイクルによる検証
- 定期テスト、学期ごとの検証
- 学校評価
- 生徒アンケート
- 各学力調査

【学びを支える家庭・地域】

- | | |
|--|--|
| <p>【家 庭】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「見守り活動」の実施 ○ 家庭学習の習慣化 ○ 家庭学習のしおりの配付 ○ 全国学力・学習状況調査をもとにした生活習慣の見直し ○ ファミリープログラムによる家庭の教育力向上 | <p>【地 域】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学校評議員会の開催 ○ 地区集会への参加 ○ 小中連携を通じた授業連携・共通指導実践 ○ 地域（自治会・育成協など）との連携 ○ 地域フェスタ・花いっぱい運動 |
|--|--|